

お寺の子ども会 西教寺進徳だより

西教寺蔵本通支坊 2018.8.21 呉市中央 7-7-13 TEL 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

7月は西日本豪雨でお休みでした。

この度の西日本豪雨やこの異常に暑い夏について、マスコミは「大変なことになった」しか報道しませんが、これらは単なる自然現象ではなく地球温暖化の影響と考えるのが妥当ではないでしょうか。その温暖化は、IPCC※によると、9割は私たち人間によって引き起こされたものだと結論されています。

※IPCC…気候変動に関する政府間パネル。国際的な専門家をつくる、地球温暖化についての科学的な研究の収集、整理のための政府間機構。

約30年前、私が学生の頃は33度で暑いねえと言ってましたが、今は38度。この調子だと30年後はどうなるのか、子どもらが生きてゆけるのかが心配です。

西教寺お寺の子ども会（日曜学校）では、ここ十数年、「でんきを消してスローな夜を—100万人のキャンドルナイト—」に参加してきました。夏至と冬至の日の夜、でんきを消してスローに過ごしましょうというイベントです。

今年も東京・大阪など各地で開催され、東京タワーの照明も消して真っ暗になりました。



<https://twitter.com/100candlenight/status/1007941450607104000>

<https://twitter.com/100candlenight/status/1003231562471649280>

お寺の方はここ数年サボっていたのですが、今回の災害を機にまた「ちゃんと考えなきゃ」と思い、また皆さんにも知ってもらいたいと思って8月合同子ども会ですることになりました。呼びかけ文（別紙）をご覧ください。

今回は、夏至（6月）や冬至（12月）ではありません、でんきを消して過ごすのはさしあたり8月30日などはどうだろうかと考えています。31日は宿題がたいへんかもしれませんので（笑）。特に30日で

なくてもよいのでご都合があう日にやってみてください。

初めてのお子さまや小さいお子さんは、いきなり2時間は難しいと思います。様子を見ながら15分でも30分でも体験してみてください。

ローソクの明かりで子どもに絵本を読んでやる、しりとり大会などをしたりして家族の楽しい時間を過ごすのも楽しいです。大人は暗くしてアロマキャンドルでゆっくりお風呂に入るのがお勧めです。



私は初めてやってみた時、「こんな人生があったのか」と思いました。呼びかけ文にあるように、まさに「プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくこと」と感じました。

子どもらが自分で作ったアロマキャンドルで、「でんきを消してスローな夜を」お送りくだされば幸いです。

1個では暗いかもしれませんのでお土産にもうひとつキャンドルを差し上げます。どうぞご利用ください。

ただ、いろいろな事情でなかなかできないご家庭もあると思います。そこで今回は、お寺でも少しの間でんきを消して、ゆっくり静かに過ごす時間をつくりました。

でんきを消して暗くして、キャンドルの明かりで仮井晴雄（NPO法人「音楽は平和を運ぶ」オーケストラフルート奏者）さんのフルートを鑑賞します。ジブリの曲など、環境に関係する曲も聴かせていただきます。

ぜひとも1度、ご家庭でスローな夜を体験してみてください。まずは私たちのできることから。

合掌

次回お寺の子ども会は9月9日（日）9時～10時です。

私たちは百万人のキャンドルナイトを呼びかけます。

6月20日、夏至の夜8時から10時の2時間、

みんなでいっせいでんきを消しましょう。

ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげられるもの

いろいろある。

しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。

ある人は省エネを、ある人は平和を、

ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとの

ことを思いながら。

プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。

それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、

文明のもっと大きな可能性を発見する

プロセスであると私たちは考えます。

一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、

ただ2時間、でんきを消すこと、

ゆるやかにつながって「くらやみのウエーブ」を

地球上にひろげていきませんか。

でんきを消して、スローな夜を。

百万人のキャンドルナイト。



でんきを消して、

スローな夜を。

<http://www.candle-night.org/jp/>

たとえば、キャンドルのあかり一本だけともして、こどもたちに本を読んでやる。

たとえば、お風呂にアロマキャンドルつかれたカラダをやすめてみる。

たとえば、とっておきのワインを開ける父(母)といつもはできない話をする。

たとえば、ひとり静かに灯りを見つめる、遠くにいる大切な人を想う。

たとえば、キャンドルの灯りでご飯をたべる。恋人と平和とか戦争とかの話してみる。

たとえば、ペットと晩酌する。ひとりじゃない幸せに乾杯する。

※火事とやけどに気をつけてね。